



TSのクセ【図説2】

表示値=真値+TSのクセ

「クセ」は下記の通り（校正済でも存在！）

- ・観測 7m前後で真値 +2mm の表示クセ
- ・観測10m以上で真値 -1mm の表示クセ

1

A点にTSを設置し
一直線上に
TS表示7,000 mm 毎の
B, C, D点を設置（印）

- ・完璧と思いや・・・
- ・真の距離（真値）に注目！

2

B点にTSを設置し
BA, BC, BD間を観測

- ・確認できるのは表示距離のみ
- ※1 BC間で+5mmの誤差確認？
- ※2 AC間で+5mmの誤差確認？
- ・何で5mmも差が出るの？

3

C点にTSを設置し
CA, CB, CD間を観測

- ※3 AB間で-5mmの誤差確認？
- ※4 BC間で+5mmの誤差確認？
- ※5 BD間で+7mmの誤差確認？？
- ・C点で完全に混乱する？？？

4

D点にTSを設置し
DA, DB, DC間を観測

- ・±3mm以上の誤差なし？
- ・D点で訳が分からなくなる？

★クセは次第に拡大！

【 TS の器差（クセ）による表示距離の違い 】

AB間距離 6,998	BC間距離 7,003	CD間距離 7,000	BD間距離 14,003	真の距離
AB間 TS表示距離	BC間 TS表示距離	CD間 TS表示距離	BD間 TS表示距離	器械点
7,000	(7,000)	(7,000)	(14,000)	(A)
7,000 ※2	7,005 ※1	(6,997)	14,002	(B)
(6,995) ※3	7,005 ※4	7,002	(14,007) ※5	(C)
(6,998)	(7,000)	7,002	14,002	(D)



更に

※ ②でBをC方向へ2mm、CをB方向へ1mmの移動で誤差分散できるがTSの位置次第で再度混乱するので調整厳禁！